



湖北

大通寺 (長浜市元浜町) の夏中 (げちゅう) 法要時に大手門通り商店街を中心に開かれる縁日「夏中さん」が4年ぶりに復活し、7月6〜9日に開かれた。

商店街は車両全面通行止めとなり、リング飴やお面販売、射的など露店約70軒が並んだ。家族連れや地元の子どもたちが大勢訪れ、思い思いに縁日を楽しんだ。

「夏中さん」は湖北の夏の風物詩として定着していたが、夏中実行委の吉田健治委



大勢の人でにぎわう「夏中さん」 = 大手門通り商店街で

長浜

「夏中さん」4年ぶり復活
大通寺門前にぎわい戻る

新型コロナ禍で2020〜22年は中止。再開した今年は、露店商組合との調整で、大通寺法要 (7月2〜5日) と少し日をずらして開かれた。商店街の一部店舗では営業時間を延長したり、店の前でドリンクを販売したりするなど、盛り上げに役買った。

夏中実行委の吉田健治委

【長浜通信部・長谷川隆広】

湖東

彦根

ちゃんぽん亭ひこにやんとタツゲ
創業60周年記念マーク6種



近江ちゃんぽん専門店「ちゃんぽん亭」を展開するドリムフーズ株式会社 (山本英一 社長) は7月、彦根市のキッチン「ひこにやん」をあしらったイラストを発表した。同社は1963年に彦根市で創業し、国内外にチェーン店を広げてきた。60周年を記念してひこにやんの原作者、もへろん氏とタイアップ。6種類のキャンペーンマークが出来上がった。

ひこにやんが左手にどんぶりを抱え、右手に箸を持ち、まさに今、近江ちゃんぽんを食べようとするシーンだ。同社は日本国内だけでなく世界へ向けて彦根市の食文化を広めてきたという。今回のイラストについては「ひこにやんも2006年の彦根築城400周年以降、市の歴史と魅力を世界に向けて発信してきた。地元彦根を盛り上げることを目的にタツゲを組み合わせるのは、まさに歴史的必然である」などとコメントしている。

【彦根通信部・伊藤信司】

清水さんの「ムクドリ」が金賞
愛鳥週間ポスター、入賞10点決まる

長浜

湖北野鳥センター (長浜市湖北町今西) が主催する第33回愛鳥週間ポスターコンクールの入賞作10点が決まった。市内の3保育園・幼稚園、6小学校、1中学校から計108点の応募があった。職員らが審査し「見る人に訴える表現の工夫や、琵琶湖や身近な鳥にも興味を持っていることが伝わる作品が多かった」と講評した。

湖北中3年、清水きらりさんの作品「ムクドリ」の兄弟はお昼寝」が金賞に輝いた。審査員から「琵琶湖を背景に、身近な鳥で2羽の仲睦まじい姿をかわいらしく表現し



金賞に輝いた、清水きらりさんの「ムクドリ」の兄弟はお昼寝

【長浜通信部・長谷川隆広】

県立大が日本建築学会賞
「竹によるものづくり」が高評価

彦根

県立大 (彦根市八坂町) の陶器浩一研究室が今年の日本建築学会賞に輝いた。受賞した業績タイトルは「竹によるものづくりを通じた社会活動および竹構造建築物の開発」。同学会員は3万5000人を超え、建築に関する特に優秀

な業績を表彰している。環境建築デザイン学科の陶器教授らは東日本震災直後被災地の竹を使って住民たちと交流施設「竹の会所」を作り上げた。7年半にわたって管理・運営し、ものづくりを通じて「心の復興」に寄与した。企画・立案・設計・施工・維持管理すべてのプロセスで学生が主導し、教育的効果も高いと評価された。

【彦根通信部・伊藤信司】



日本建築学会賞に輝いた陶器浩一研究室の建築物 = 県立大HPより